

頭を打った時の注意（小児用）

- ・頭を打ったとき、頭の皮膚は皮下組織が少ないので出血しやすく、たんこぶ（皮下出血）ができることもあります。また脳が揺れる（脳震盪）ことによって吐き気がしたり、吐いたりすることがあります。
- ・頭を打ったときは1日 **安静にして**、様子を見ましょう。

ただし、頭を打った場所や程度によって、頭蓋骨骨折や頭蓋内出血をおこすことがあります。次のような症状があるときはすぐにもう一度診察を受けましょう。

- 1) 意識障害がある
 - ・呼んでも起きない
 - ・ぐったりしている
 - ・目の動きがおかしい
 - ・瞳孔の大きさが右と左で異なる
- 2) 麻痺がある
 - ・立てない、歩けない
 - ・手に力がはいらない
- 3) けいれんをおこした
- 4) 激しく何度も吐く
- 5) 鼻や耳からさらさらした水のようなものが流れ出てくる
- 6) 乳児では大泉門が張っている

夜間など時間外に受診したときは、念のため**平日の午前中**に脳外科外来を受診してください。診断書が必要なときも同様です。
ただし緊急手術などで診察できないときもあります。

診察時間 月曜～金曜 9:00～11:30、13:00～16:30
※緊急の場合はこの限りではありません

白十字病院 脳神経外科
福岡市西区石丸3-2-1
TEL 092-891-2511

2006. 7. 21作成
2018. 2. 16改定